

受理第30-8号

## 請 願 書

件 名

宇治市広報の音訳事業に関する請願

紹介議員

大河 直幸、宮本 繁夫、片岡 英治、秋月 新治、

浅井 厚徳

〔請願の趣旨〕

宇治リーディングボランティア（略称：URV）は、1977年の設立以来、宇治市在住の視覚障害者に向けて、「宇治市政だより」等、宇治市が発行する各種広報を音訳し届ける活動をしてきています。

この間、『障害者総合支援法』等の法整備によって、市町村が「地域生活支援事業」として、〈意思疎通支援事業〉や〈意思疎通支援を行う者を養成する事業〉を行うことが定められました。宇治市近隣の京都市や城陽市などでは、こうした国の方針を受けて、「朗読奉仕員（音訳奉仕員）の養成事業」や、公共的団体への委託による「声の広報等発行事業」を行っています。しかし、宇治市においては、こうした事業を宇治市が主体となって行う態勢にはなっておらず、宇治リーディングボランティアが民間の助成や寄付等を受けて、「広報の音訳」や「音訳ボランティア養成」活動を担っているのが現状です。

すべての市民に行政の情報を伝えることは、行政の責務であると考えます。ついては、近隣自治体にならい、「行政が発信する情報を音訳して視覚障害者に届ける事業」やそのための「音訳奉仕員の養成事業」を、宇治市が主体となって行うことを求めます。

〔請願項目〕

- 1 宇治市広報の音訳・送付を、市の事業として取り組むこと。
- 2 音訳事業を担う音訳奉仕員の養成を、市の事業として実施すること。

2018年 11 月 27 日

宇治市議会議長

坂下 弘親 様

〔請願者〕

宇治リーディングボランティア

代表 村西 正良

宇治市視覚障害者協会

会長 今里 忠幸